

試 験 研 究 業 績

外 部 へ の 発 表
(平成 27, 28, 29, 30 年度)

【学会誌】

柳 宗悦・前野幸二・今岡慶明・嶋原佳子・三輪 理・大迫典久 (2015). 鹿児島県内における養殖カンパチの眼球炎の発生傾向について. 魚病研究 **50**(1), 29-32.

小路口拓輝 (2017). 鹿児島県の事例～フェリー情報等～. 水産海洋研究 **81**(2), 65-66.

Mochizuki Y, Yamada R, Shishido H, Masuda Y, Nakai S, Takai N, Itoi S, Sugita H. (2017) Complete mitochondrial genome of the genus Scombrops (Teleostei, Scombroproidae) from southern waters off Kyushu Island, Japan. Mitochondrial DNA Part B, **2**(1), 106-108.

保 聖子, 折田和三, 木村郁夫 (2017). ゴマサバの蓄養可能期間の検討. 日本水産学会誌 **83**(3), 392-399.

保 聖子, 里見正隆, 舊谷亜由美, 仁部玄通, 稲盛重弘, 木村郁夫 (2017). うるめいわし丸干における柑橘精油添加によるヒスタミン蓄積抑制効果について. 日本水産学会誌 **83**(5), 769-776.

宋道弘敏 (2018). ブリの資源変動と環境変動の関係. 水産海洋研究 **82**(1), 37-38.

水野紫津葉, 小松輝久, 宋道弘敏 (2018). 太平洋側へのモジャコの輸送. 水産海洋研究 **82**(1), 46-47.

天野裕平 (2018). 鹿児島県海域におけるマイワシ資源の状況. 水産海洋研究 **82**(2), 72-73.

Itoi S, Mochizuki Y, Tanaka M, Oyama H, Tsunashima T, Yamada R, Shishido H, Masuda Y, Nakai S, Takai N, Fukushima H, Abe K, Kojima T, Sugita H. (2018). Species composition of the genus Scombrops (Teleostei, Scombroproidae) in the waters around the Japanese archipelago: detection of a cryptic species. Mitochondrial DNA Part A, **29**(8), 1293-1300.

仁部玄通 (2018). メダイ凍結保管中の品質変化について—離島における急速凍結技術の活用—. 冷凍, **93**(1089), 437-440.

保 聖子, 藤田 聡, 緒方由美, 木村郁夫 (2018). イワシ類稚仔魚の冷蔵保存中の自己消化. 日本水産学会誌 **84**(1), 103-110.

Terada R, Nakahara K, Ann Borlongan I, Watanabe Y, Mine T, Morikawa T, Igari T, Nishi H, Endo H, Gregory N, Nishihara (2018). Combined effects of irradiance and temperature on the *PSII* photochemical efficiency in the heteromorphic life history stages of cultivated *Pyropia* (Bangiales): *P. yezoensis* *F. narawaensis* and *P. tenera* from Japan. *Journal of*

【書籍・雑誌等】

宍道弘敏, 亘 真吾, 田 永軍, 水野紫津葉, 小松輝久 (2016). 鹿児島県海域におけるモジャコ来遊量変動とブリ新規加入量の関係. 月刊海洋 **48**(11), 487-489.

宍道弘敏, 水野紫津葉, 小松輝久 (2016). 鹿児島県海域における流れ藻来遊量・来遊時期の変動とその要因. 月刊海洋 **48**(11), 490-493.

水野紫津葉, 宍道弘敏, 小松輝久 (2016). 晩冬から初春の東シナ海流れ藻分布と輸送シミュレーション. 月刊海洋 **48**(12), 512-516.

保 聖子 (2016). サバ類への短期蓄養の有効性と鹿児島県における付加価値販売の取り組み. 月刊養殖ビジネス **669**, 14-15.

柳 宗悦 (2016). *Lactococcus garvieae* II (非凝集型) の発生動向とワクチン開発の方向性. 月刊養殖ビジネス **670**, 22-25.

柳 宗悦 (2016). 鹿児島県におけるニホンナマズの魚病発生動向と対策. 月刊養殖ビジネス **672**, 22-26.

亘 真吾, 米沢純爾, 武内啓明, 加藤正人, 山川正巳, 萩原快次, 越智洋介, 米崎史郎, 藤田 薫, 酒井 猛, 猪原 亮, 宍道弘敏, 田中栄次 (2017). キンメダイの資源生態と資源管理. 水産機構研報 **44**, 1-46.

宍道弘敏 (2017). ブリの資源変動要因と近年の動向. 月刊海洋 **49**(7), 349-351.

村田圭助 (2017). 粘土散布による赤潮防除効果のメカニズムと改良粘土の開発. 月刊養殖ビジネス **679**, 17-19.

矢野浩一 (2018). 八代海における赤潮モニタリング. 月刊養殖ビジネス **691**, 49-53.

柳 宗悦 (2018). よくわかる！魚病対策と水産用医薬品－第1章魚種別にみる疾病発生動向と対策, 月刊養殖ビジネス臨時増刊号 **693**, 15-18.

【学会発表】

(口頭)

柳 宗悦, 今岡慶明, 米加田徹, 西岡豊弘, 藤本 宏, 有元 操, 森広一郎. ブリ類養

殖におけるべこ病原因微胞子虫のモニタリング-IV-カンパチべこ病の感染を軽減できる時期・種苗サイズの把握-。平成 28 年度年度日本魚病学会春季大会。

柳 宗悦, 今岡慶明, 川上秀昌, 原川翔伍, 南 隆之, 嶋原佳子, 湯浅 啓, 森広一郎。カンパチ眼球炎の薬剤治療効果に関する研究。平成 28 年度年度日本魚病学会春季大会。

柳 宗悦, 今岡慶明, 嶋原佳子, 湯浅 啓。カンパチ眼球炎の発症要因に関する研究-イソギンチャクの刺傷による影響試験-。平成 28 年度年度日本魚病学会秋季大会。

笠間康広, 柳 宗悦, 吉田照豊。DGGE 解析を用いた *Nocardia seriolae*16-23S rRNA ITS の多様性に関する研究。平成 28 年度年度日本魚病学会秋季大会。

大林和哉, 福田 穰, 柳 宗悦, 南 隆之, 西木一生, 吉田照豊。 *Lactococcus garvieae* II 型の疫学情報。平成 28 年度年度日本魚病学会秋季大会。

保 聖子, 里見正隆, 本田亜由美, 仁部玄通, 稲盛重弘, 木村郁夫。イワシ丸干品製造工程におけるヒスタミンの蓄積及びその抑制方法。平成 28 年度年度日本水産学会秋季大会。

水野紫津葉, 宍道弘敏, J. B. Filippi, 田中 潔, 広瀬直毅, 小松輝久。東シナ海大陸棚上に分布する流れ藻の DREAMS DR_M を利用した起源推定。2016 年度日本海洋学会秋季大会。

水野紫津葉, 宍道弘敏, 小松輝久。春季鹿児島県海域に出現する流れ藻の起源推定。2016 年度水産海洋学会研究発表大会。

宍道弘敏。深海性フエダイ科魚類ハマダイの移動回遊生態解明 1 ~ 標識放流技術と放流実績 ~。平成 29 年度日本水産学会春季大会。

奥山準一, 宍道弘敏, 田邊智唯。深海性フエダイ科魚類ハマダイの移動回遊生態解明 2 ~ 超音波テレメトリーによる行動追跡 ~。平成 29 年度日本水産学会春季大会。

芦田拓士, 中野正明, 竹井光広, 東 明浩, 平山仁斗, 市原 肇。薩南・九州西方沖海域におけるカツオ雌の産卵生態。平成 29 年度日本水産学会春季大会。

保 聖子, 仁部玄通, 和田和彦, 小路口拓輝, 稲盛重弘, 木村郁夫。シラス（イワシ稚魚）の冷凍保存における魚体の自己消化。平成 29 年度日本水産学会春季大会。

宍道弘敏, 斎藤真美, 中川雅弘。奄美海域産スジアラの資源管理に向けた基礎生態研究

1～成長と成熟～. 2017年度水産海洋学会研究発表大会.

大脇瑠莉, 加古真一郎, 宍道弘敏, 広瀬直毅. 奄美海域産スジアラの資源管理に向けた基礎生態研究 2 ～粒子追跡モデルによる卵仔魚輸送過程の推定～. 2017年度水産海洋学会研究発表大会.

脇谷量子郎, 今吉雄二, 海部健三. 天然および養殖ニホンウナギの競合試験. 平成30年度日本水産学会春季大会

柳 宗悦, 福留 慶, 和田和彦, 川上秀昌, 原川翔伍, 白樫正(近大水研), 佐藤 純, 坂井貴光, 米加田徹, 山崎雅俊, 伊東尚史, 西岡豊弘, 森広一郎. ブリ類のべこ病治療薬の探索. 平成30年度日本魚病学会春季大会.

尾山 輝, 糸井史朗, 上田紘之, 望月裕香子, 田中みの梨, 杉田治男, 宍道弘敏, 増田育司. ミトコンドリア DNA 塩基配列に基づくムツ属魚類の分類に関する研究. 平成30年度日本水産学会秋季大会.

庄野 宏, 天野裕平, 櫻井正輝. ディープラーニングを利用した鹿児島県におけるシラス漁況予測の試み. 平成30年度日本水産学会秋季大会.

岩下航大, 加古真一郎, 宍道弘敏, 広瀬直毅. 奄美海域産スジアラの資源管理に向けた基礎生態研究 3 ～双方向粒子追跡モデルによる産卵場推定～. 2018年度水産海洋学会研究発表大会.

宍道弘敏, 亘 真吾. 奄美海域産スジアラの資源診断. 2018年度水産海洋学会研究発表大会.

石川和雄, 伊藤幸彦, 渡邊千夏子, 亀田卓彦, 福元亨介, 渡慶次力, 堀江ひかり, 橋田大輔, 大河俊之, 武田崇史, 久野正博, 鈴木勇己, 高村正造. マアジ卵稚仔の黒潮沿岸域への輸送過程－漁獲資料解析による推定－. 2018年度水産海洋学会研究発表大会.

庄野 宏, 西 広海, 高杉朋孝, 宮田翔也, 森島義明. 気象データを利用した機械学習・深層学習による八代海の赤潮予測. 2018年度水産海洋学会研究発表大会.

(ポスター)

Mochizuki Y, Tanaka M, Tsunashima T, Shishido H, Masuda Y, Nakai S, Takai N, Itoi S, Sugita H. Undescribed gnomefish species found from the waters around Japanese Islands. 7th World Fisheries Congress. Busan. South Korea, 2016.

望月裕香子, 山田理子, 糸井史朗, 増田育司, 宍道弘敏, 高井則之, 中井静子, 杉田治男. ムツ属魚類未記載種の mtDNA 全塩基配列の決定. 平成 29 年度日本水産学会春季大会.

柳 宗悦, 福留 慶, 稲盛重弘, 和田和彦, 今岡慶明, 有元 操, 米加田徹, 藤本 宏, 森広一郎. ブリ類のべこ病のシスト形成に関する疫学調査. 平成 29 年度年度日本魚病学会春季大会.

糸井史朗, 望月裕香子, 田中みの梨, 宍道弘敏, 増田育司, 中井静子, 高井則之, 杉田治男. ムツ属魚類の簡易種判別法の開発. 第 19 回マリンバイオテクノロジー学会, 2017.

Tamotsu S, Hujita S, and Kimura I. Postmortem autodigestion of juvenile body of sardines sardines during cold storage. 2017 International Symposium (Fisheries Science for Future Generations) .

福元亨介, 黒田啓行. 薩南海域の旋網におけるゴマサバの漁況予測手法の検討. 2018 年度水産海洋学会研究発表大会.

【シンポジウム等発表】

宍道弘敏. ブリの資源変動と環境変動の関係. 第 4 回南九州水産海洋研究集会「ブリ資源について考える～資源研究と漁業の視点から～」, 2016.

水野紫津葉, 小松輝久, 宍道弘敏. 太平洋側へのモジャコの輸送. 第 4 回南九州水産海洋研究集会「ブリ資源について考える～資源研究と漁業の視点から～」, 2016.

小路口拓輝, 種子田雄. 志布志湾への外洋水流入に伴う海況変動. 第 105 回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議, 2016.

宍道弘敏. ブリの資源変動要因と近年の動向. 東京大学大気海洋研究所共同利用シンポジウム「変動期に入った日本周辺海域の漁業資源」, 2016.

小路口拓輝, 天野裕平. 鹿児島県海域におけるマイワシの漁獲変動. 平成 28 年度九州・山口ブロック漁業・資源分科会.

天野裕平. 海上馴致による放流マダいの種苗性向上の検討. 平成 28 年度九州・山口ブロック海面増殖分科会.

柳 宗悦, 福留 慶. 養殖カンパチで確認された真菌症. 平成 28 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦, 福留 慶. ブリ類のべこ病の疫学調査の取組事例. 平成 28 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦. ブリ類のべこ病の疫学情報について. 平成 28 年度ブリ類の難治癒疾病連絡協議会.

柳 宗悦, 福留 慶. ブリ類のべこ病の疫学情報について. 平成 28 年度魚病症例研究会

柳 宗悦, 福留 慶. 養殖カンパチで確認された真菌症. 平成 28 年度魚病症例研究会

柳 宗悦, 福留 慶. ノカルジア症 α -グルコシダーゼ陽性株及び *Lactococcus garvieae* II 型の疫学情報. 平成 28 年度南中九州・西四国水族防疫会議.

保 聖子, 里見正隆, 本田亜由美, 仁部玄通, 稲盛重弘, 木村郁夫. イワシ丸干品製造工程におけるヒスタミン蓄積とその抑制方法. 平成 28 年度水産利用関係研究開発推進会議利用加工技術部会研究会.

仁部玄通. メダイ凍結保管中の品質変化について. 平成 28 年度九州・山口ブロック利用加工分科会.

猪狩忠光. 奄美海域で見られたホンダワラの増殖方法と植食性魚類. 平成 28 年度九州・山口ブロック磯焼け・藻場造成分科会

東條智仁. 奄美のリーフ性藻場における藻場形成について. 平成 28 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会藻類情報交換会

猪狩忠光. 鹿児島県指宿市岩本地区の藻場回復（造成）の取組. 平成 28 年度磯焼け対策全国協議会

矢野浩一. 鹿児島産 *Dictyocha octonaria* の養殖魚に対する影響試験結果について. 平成 28 年度九州・山口ブロック漁場環境分科会

小路口拓輝・種子田雄. 西薩海域におけるカタクチシラス春漁と暖水波及との関係. 平成 29 年度中央ブロック資源海洋調査研究会.

福元亨介. 鹿児島県海域におけるマサバの漁獲に関する一考察. 平成 29 年度中央ブロック資源海洋調査研究会.

宍道弘敏. 都道府県別ブリ類漁獲量の変動係数と緯度の関係. 平成 29 年度中央ブロッ

ク資源海洋調査研究会.

天野裕平. 鹿児島県海域におけるマイワシ資源の状況. 第5回南九州水産海洋研究集会「マイワシ資源について考える～今後の資源動向を見越した有効活用の視点から～」, 2017.

櫻井正輝. 鹿児島県海域におけるバショウカジキ漁と海況の関係. 平成 29 年度九州・山口ブロック漁業・資源分科会.

仁部玄通. 鮮魚の低酸素水浸漬処理について. 平成 29 年度九州・山口ブロック利用加工分科会.

仁部玄通. 水産技術開発センターの機能紹介とマグロ類の血合肉すり身化技術. 平成 29 年度鹿児島県食品加工研究機関成果発表会.

今吉雄二. スジアラ種苗生産技術開発について. 平成 29 年度九州・山口ブロック海面増殖分科会.

柳 宗悦, 福留 慶. ベコ病の疫学情報について. 平成 29 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦, 福留 慶. ブリ稚魚で確認された真菌症. 平成 29 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦. ブリ類のべこ病の疫学情報について. 平成 29 年度ブリ類の難治癒疾病連絡協議会.

柳 宗悦, 福留 慶, 今岡慶明. 海産魚のべこ病の疫学情報について. 平成 29 年度魚病症例研究会.

柳 宗悦, 福留 慶. ブリ類のレンサ球菌症の疫学情報について. 平成 29 年度魚病症例研究会.

柳 宗悦, 福留 慶. ブリのフィレで確認された黒色異物について (*Hirudinella* 属の幼虫移行症). 平成 29 年度南中九州・西四国水族防疫会議.

柳 宗悦, 福留 慶, 今岡慶明. ブリ類の近年の主要感染症について. 平成 29 年度南中九州・西四国水族防疫会議.

福留 慶. アユ疾病の防疫体制の再構築取組事例について. 平成 29 年度南中九州・西

四国水族防疫会議.

福留 慶. アユ疾病の防疫体制の再構築取組事例について. 平成 29 年度九州・山口ブロック内水面分科会.

高杉朋孝. 新燃岳噴火がアユに与える影響. 平成 29 年度九州・山口ブロック内水面分科会.

猪狩忠光. ウニ駆除によるガラモ場回復試験. 平成 29 年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会藻類情報交換会.

猪狩忠光. ウニ駆除がもたらすもの. 平成 29 年度九州・山口ブロック磯焼け・藻場造成分科会.

中島広樹. 2015年, 2017年に発生した *Karenia mikimotoi* 赤潮について. 平成 29 年度九州・山口ブロック漁場環境分科会.

宮田翔也. 改良型粘土の実用化と今後の課題. 平成 29 年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮・貝毒部会.

天野裕平. 鹿児島県海域におけるキビナゴの漁獲特性と生物学的特性. 第 107 回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議, 2017.

福元亨介, 黒田啓行. 薩南海域のまき網におけるゴマサバの漁況予測手法の検討. 平成 30 年度中央ブロック資源海洋調査研究会.

天野裕平. 北薩海域におけるウルメイワシの発生時期と漁況予測の検討. 平成 30 年度中央ブロック資源海洋調査研究会.

亙 真吾, 辻 俊宏, 廣畑二郎, 及川利幸, 池上直也, 御宿昭彦, 久野正博, 猪原 亮, 堀江ひかり, 田中耕治, 久保田洋, 古川誠志郎, 阪地英男. 日本周辺水域のブリの年齢と成長. 平成 30 年度中央ブロック資源海洋調査研究会.

櫻井正輝. 鹿児島県におけるカツオの漁獲動向. 第 6 回南九州水産海洋研究集会「カツオ資源・漁業・利用加工の現状と課題」, 2018.

堀江ひかり, 天野裕平. 南九州におけるマイワシ資源について. 東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会「変化拡大するマイワシ資源」, 2018.

福元亨介, 黒田啓行. 薩南海域の旋網におけるゴマサバ漁況予測手法の検討. 平成 30

年度九州・山口ブロック漁業・資源分科会.

天野裕平. 栽培漁業の事業効果マニュアルによる鹿児島湾マダイの再生産効果. 平成 30 年度九州・山口ブロック海面増殖分科会.

宍道弘敏. ブリの資源変動要因と近年の動向. 第 5 回三陸地域研究集会「三陸沿岸における定置網漁業と海洋環境」, 2018.

久保 満. 養殖ブリ輸出促進のための高品質冷凍流通技術開発. 平成 30 年度鹿児島県食品加工研究機関成果発表会.

久保 満. 異なる発酵法で製造したエビ醬の品質. 平成 30 年度九州・山口ブロック利用加工分科会.

久保 満. 「農林水産省革新的技術開発緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）」における鹿児島県でのセレノネイン含有血合肉すり身化技術開発. WELLNESS FOOD JAPAN 2018「DHA・EPA を超える？魚の新規機能性成分セレノネイン」.

柳 宗悦, 福留 慶, 今岡慶明. 鹿児島県におけるブリ類の主要細菌感染症. 平成 30 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦. 海産養殖魚で確認された黒色異物と黒色真菌の症例. 平成 30 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦, 福留 慶. 鹿児島県におけるブリ類の難治癒疾病対策研究. 平成 30 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

福留 慶. カンパチ養殖におけるハダムシ対策技術の確立に向けて. 平成 30 年度九州・山口ブロック魚病分科会.

柳 宗悦. べこ病の疫学調査. 平成 30 年度ブリ類の難治癒疾病連絡協議会.

柳 宗悦. 海産養殖魚で確認された黒色異物と黒色真菌の症例. 平成 30 年度魚病症例研究会.

柳 宗悦, 福留 慶, 今岡慶明. ブリ類のべこ病の疫学調査. 平成 30 年度魚病症例研究会.

猪狩忠光. ドローンによる鹿児島湾の藻場モニタリングについて. 平成 30 年度九州・山口ブロック磯焼け・藻場造成分科会.

市来拓海. 硫黄山噴火における川内川への影響. 平成 30 年度九州・山口ブロック内水面分科会.

高杉朋孝. 2018 年に鹿児島湾で発生した *Heterosigma akashiwo* 赤潮について. 平成 30 年度九州・山口ブロック漁場環境分科会.

宮田翔也. 改良型粘土を用いた赤潮被害防止マニュアルの概要について. 平成 30 年度第 17 回シャットネラ等赤潮対策推進協議会.